

学力向上、希望校合格のコツは勉強時間を長くすること
自覚をもてば、勉強時間は長くなる

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

私立中学校入試の受験生や中高一貫校入試の受験生、高校入試の受験生、大学入試の受験生などたくさんの方がいると思います。また、いろいろな試験の勉強をしている方もいらっしゃると思います。勉強をする上で大事なことはたくさんあります。

2. 学力向上、希望校合格のコツは勉強時間を長くすること 自覚をもてば、勉強時間は長くなる

(1)これでやるんだという勉強の仕方考えることも大事なことの一つですが、できるだけたくさん時間を取ることも大事です。そこで本日の開倫塾の時間では、そのうちの一つの勉強時間についてお話しさせていただきます。

時間をたくさん取る上で一番大切なことは、志を高く持つことです。親や学校の先生、学習塾の先生が勉強しなさいと言うから勉強するという被害者意識で嫌々勉強しても、勉強時間は全然長く取れません。そうではなく、私はこのような一生を送りたい・私はこのような仕事に就きたい・私はこのような学校に行きたい・私はこのようなことをしたいなど、人生の目標や受験する学校を自分できちんと決める。また、受験をして合格したらそのあとにどのようなことをしたいかなどを自分ではっきりと決める。このような方は、自分で決めたことには自分で責任を取る、自己責任・自己努力ですべてやらなくてはなりません、自分で決めたことですので、いくらたくさん時間を勉強しても辛いことはありません。

(2)繰り返しになりますが、勉強の時間をできるだけ長く取るためにまず最初にしなければならないことは、何のために勉強するのかということ自分自身ではっきりさせることです。そうすれば、あとは勉強すればよいだけです。何のために受験をするのか、合格したら高校で何をするのか・大学で何をするのか、その資格を取ったらどんなことをするのかということをはっきりさせること、これを「自覚する」と言います。自覚をすればするほど勉強時間が増えますので、何のために勉強するのかをどうかよく考えて下さい。

(3)そこで、そのときに役に立つのが読書です。読書をする、自分自身を振り返る自省心や思慮深さが身につきます。そして、読書をする、どんな人生を歩みたいのかを自分で考えるきっかけができます。また、新聞を読むと、世の中のことがたくさんたくさんわかります。このようなことではいけないなどと批判的思考能力も身につきます。新聞を読んで社会でどのようなことが起きているのかを知り、何のために学ぶのかという受験勉強をするきっかけができます。

(4)忙しくて本や新聞を読むことまで手が回らないという方はどのようにすればよいか。鞆の中に

本を1～2冊入れておくとか、家でとっている昨日の新聞を鞆の中に入れておき、普段の勉強や受験勉強の合間合間に読むことを、私はお勧めします。今ではどこの入試でも行われている面接や入試の作文のときに、読書や新聞を読むことに励んでいる方は、とてもとてもよい答え方ができると思いますので役に立つと思います。学校の定期試験や実力テスト、模擬試験もそうですが、入学試験では大量の長い文章がどの科目でも出され、その文章を読解した上で設問に答える出題が多く見られます。大量の長い文章を限られた試験時間中に読み、自分の力で正解を導くには、読書により読解能力を身につけることが最も効果的です。学力の高い人になりたければ読書に励むべきです。

- (5)では、勉強時間をどのように取ったらよいか。勉強時間はできるだけ多く取ることが大事です。夕方、学校から家に帰って夕食までの1～2時間を勉強するとよいですね。また、夕飯を食べてから寝るまでの1～2時間も勉強するとよいです。帰宅後の1～2時間、寝るまでの1～2時間というかたちで少しずつ時間を取っていく。そして、朝は少し早めの5時頃に起きて、朝食までの1～2時間を勉強する。このように、1～2時間の短い時間を何回か取る。それらを全部足すと勉強時間がどっと増えます。家で3～6時間ぐらい勉強ができれば、受験勉強としてはだいたいOKだと思います。
- (6)また、学校の休みの日には、学校の平日の授業時間に合わせて昼間に勉強するのがコツです。学校がない日でも学校の授業時間に合わせて勉強するにはどのようにしたらよいかと言いますと、朝9時頃になると学校の授業が始まりますので、40～50分ぐらい勉強してそのあと休み時間を取る、これを繰り返していくと、昼間だけでも一日5～6時間勉強できます。そして、先程お話ししたように夕方や夜、朝に勉強すると、さらに5～6時間勉強時間が取れます。ですから、休みの日には全部で10時間以上勉強ができることになります。
- (7)睡眠時間は、7～8時間ぐらいいは取った方がよいと思います。ただ、試験前などでどうしても勉強時間が足りない場合は5～6時間でもよいと思います。しかし、普通は7～8時間睡眠を取るのがよいと思います。
- (8)勉強の仕方については、科目ごとに教材をいくつか決めていただき、結果的にその教材をスミからスミまで一語残らず覚えること。教材の中には、学校の教科書、学習塾のテキスト、学校や学習塾の授業中のノートは必ず入れて下さい。それらをスミからスミまで一語残らず理解した上で覚え切ること。これがあらゆる勉強、特に定期試験や受験勉強のコツです。どうぞ参考にしてみてください。

3. おわりに

- (1)先月秋の交通安全週間がありました。車を運転している方をお願いします。前の車に追突しないように車間距離を十分に取って運転して下さい。車間距離をきちんと取っておけば、交通事故に巻き込まれる可能性が非常に少ないです。前の車が急停止してもすぐに止まれるように十分な車間距離を取って下さい。これは交通事故に巻き込まれない一つの方法です。車間距離を十分に取ることを私はお勧めします。私は18歳のころ自動車の運転免許を取り、以来毎日のように自動車を運転していますが、車間距離を十分に取っていますので、お陰様でまだ一度も追突事故に遭ったことはありません。
- (2)受験勉強で大事なことは、勉強時間をたくさん取ることです。そのために自覚を持って勉強していただければ有り難いと思います。